

中期目標（素案）概要	説 明
第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項 1 業務運営体制の確立 自律的・機動的な病院運営体制の構築 ・理事会を中心とした組織体制の整備 ・機構内での適切な権限配分 ・職員の積極的な経営参画意識の醸成 2 人材の確保、育成 (1) <u>病院を取り巻く環境変化に迅速、柔軟に対応した人材の確保</u> 多様な採用方法や雇用形態の検討 (2) <u>事務職員の専門性の向上</u> 戦略的な病院経営を企画・立案できる事務職員の確保・育成 (3) <u>研修の充実</u> ア 院内研修の充実や各種学会・研修会への参加、派遣研修など多様な研修機会の拡充 イ 臨床研修医等の積極的な受入れ、看護専門学校等との連携による優れた看護師等の確保、育成 3 弾力的な予算の執行、組織の見直し 弾力的な予算執行、多様な契約方法の導入、迅速、柔軟な組織や人員配置の見直し 4 意欲的に働くことのできる、働きやすい職場環境づくり (1) <u>病院の実態に即した人事・給与制度の構築</u> 法人の経営状況を踏まえつつ、職員の勤務実態等が適正に評価される人事・給与制度の構築 (2) <u>適切な役割分担と業務の負担軽減</u> 補助職員の採用による医療スタッフの負担軽減 (3) <u>ワーク・ライフ・バランスの推進</u> 子育て支援の充実等 5 外部評価等の活用 会計監査人による監査、本市評価委員会による評価、患者等利用者の意見を踏まえた法人の業務運営の改善	様々な病院運営上の課題の解決が、法人化の大きな目的であることから、病院が日常的に意識し、検討委員会で課題として検討した事項を中心に記載した。

中期目標（素案）概要	説 明
第4 財務内容の改善に関する事項 経営の安定化の推進 ・ <u>法人の経営努力だけでは維持することが困難な公共性の高い医療を提供するために必要となる経費の本市負担の維持</u> ・ 本市経費負担後の中期目標期間中の経常収支の黒字の維持 ・ 適正な病床等の管理、診療報酬改定への的確な対応、適切な未収金対策 ・ 法人制度の利点を生かした効率的な病院運営 第5 その他業務運営に関する重要事項 安佐市民病院の建替えと医療機能の拡充 ・ 耐震性の向上と老朽化・狭あい化の解消、高度で先進的な医療機能の拡充等への対応を図るための建替え ・ 建替えに当たっての本市との連携	委員会報告にある移行に当たって留意すべき事項に、「市は、法人の経営努力だけでは維持することが困難な公共性の高い医療の提供について、責任を持って財政支援を行うこと」とされていることから、同様の趣旨を記載した。